

平成 25 年 8 月定例教育委員会会議録

平成 25 年 8 月定例教育委員会は、8 月 2 日（金）大府市役所 5 階委員会室 1 に招集し、次のとおり審議した。

○出席した委員

一番席委員 河合 昌和	二番席委員 日比 靖子	三番席委員 竹中 万里
四番席委員 相木 鍾三	五番席委員 浅井 宣亮	六番席委員 細谷 正明

○議案説明のため出席した事務局職員

教育部長、指導主事、学校教育課長、生涯学習課長、中央図書館長、
指導主事、学校教育課庶務施設係長、学校教育課学校教育係長

○提案議案

議案第	41 号	愛知県教科用図書採択地区の適正規模化に関する意向確認について
報告事項	1 号	小中学校現況報告について
	2 号	「エーデルワイス」第 9 回マンドリンふれあいコンサートの後援申請について
	3 号	2013 年 税を考える週間 社会貢献事業「祭・de・TAX' 13」 ～21 世紀を担う子供たちに夢を。～の後援申請について
	4 号	第 41 回「人権を理解する作品コンクール」の後援申請について
	5 号	アスペ・エルデの会 発達障がいの理解・研修セミナー 2013 の後援申請について
	6 号	私立高校進学説明会の後援申請について
	7 号	平成 24 年度 星城大学公開講座の後援申請について

開会時間 午後 1 時 30 分

閉会時間 午後 2 時 05 分

発 言 者	要 旨
委員長	<p>開会あいさつ。 前回議事録は、先程承認。 委員長報告でございますが、7月21日に参議院議員選挙がありましたので、私は充て職でいただいている明るい選挙推進協議会委員ということで7月9日に期日前投票の立会人をやらせていただきました。期日前投票をされる方が、とてもたくさんいらっしゃいましたので、大変驚きました。10日は、教育委員全員で、小牧市で開かれた愛知県市町村教育委員会連合会第47回定期総会及び研修会に参加させていただきました。ここでの研修会で、小牧山城が歴史的にみて大変重要な位置づけを持っているという講演を聞かせていただきました。16日は、マックスバリュ大府店で、危険防止のキャンペーンに参加させていただきました。18日は、神田小学校で第一回義務教育推進協議会がありました。神田小学校の改修の状況と、来年度給食室を新しく建替えるそうなので、その場所も見させていただきました。20日、教育長や渡部指導主事と一緒に小学校の野外活動開村式に出席しました。久しぶりに、キャンプ場を見た訳ですが、非常に、安心安全なキャンプ場になっているなという思いが強くなりました。一つの学校行事を行うにも、たくさんの方々の支えで成り立っているという事を改めて承知した訳であります。至学館大学の時安先生も学生さんがボランティアで参加してくださっているので、その場にいらっしゃいました。25日、図書館まつりのオープニングセレモニーに参加いたしました。教育長を始め、日比委員や竹中委員と一緒に子どもたちと踊っておられました。27日、教育長と一緒に共長夏祭りのオープニングセレモニーに参加いたしました。何部だったか忘れましたが、大府北中の生徒さんたちが、いつも提灯を下げたりするボランティアをやってくださり、市長さんにその事をお話ししましたら、あいさつの中でその話題に触れてくださいましたので、その場にみえた永井校長先生や保護者の方も喜んでいらっしゃいました。29日、民生委員推薦会に出席いたしました。今年度、たくさんの方の改選の方がいらっしゃるということで承認したわけでございます。以上です。 それでは、教育長報告をお願いします。</p>
教育長	<p>今日は4点ご報告申し上げます。 1点目は、7月5日に行われた「大府市青少年問題協議会」です。これは教育委員会の所管ではなく、市民協働部の青少年女性室が事務局になって開催しているものですが、私も委員の一人として出席し、大府の子どもたちの非行防止・健全育成のために情報交換や協議をする会議でしたので、その様子をお知らせします。事務局は、「失敗を許さずすぐに結果を求めようとする社会風潮や不安定な経済情勢を反映して、最近の青少年には自尊心や挑戦しようという気持ちの低下がみられるのではないかと」と現状を認識し、その解決のために、①子どもが小さいころから地域の大人と顔見知りになる活動をしよう、②子どもの活躍する場を提供し、結果だけでなく取り組んだことを評価しようという方針が提案されました。提案を受けて、「青少年を地域や行政の事業にどう巻き込むか」というテーマのもと、委員から活発な意見が出されました。私は最後に総括的な発言を求められましたので「現代は人間関係もバーチャル化し、リアルな人間関係が希薄になっているのではないかと。だから、共通の取り組みを通して、成功体験や感動の共有を図ることが重要である。そのために、地域で行われる諸行事への参画を通して異世代交流が図られるのはとても大切なことである。そのよい例として“吉田まちづくりサマーフェスティバル”を挙げるができる」と述べました。あわせて「あいさつを通じた人間関係作りも積極的に進めていただきたい。そのためにも“きらきら教育”へのご理解を」と協力依頼をしておきました。 2点目は、同じ7月5日の午後に開催された「尾張部都市教育長会議」について</p>

発 言 者	要 旨
	<p>です。</p> <p>この日は会議に先立って愛知県教育委員会の岡田管理部長から、①教育委員会制度の見直しについて、中央教育審議会の協議が始まり、年内に答申がされ、来年の通常国会で法律改正を行う見通しであること、②愛知県の高校入試制度改革について検討が進んでいること、③一宮養護学校・佐織養護学校の過大化解消のため「いなざわ特別支援学校」を来年4月に開校する準備を進めていることなどの報告がありました。</p> <p>続いて「適応指導教室の機能拡充」「学校統廃合」「ALTの雇用形態」の3点について協議・情報交換を行いました。この中では、児童生徒数の減少や財政状況の悪化により、学校統廃合を計画したり、実行に移したりしているところが尾張部で4市あるという現実には驚かされました。東海北陸や全国の都市教育長会議ではこの問題が直近の大きな課題になっていることはこれまでも報告してきましたが、県内の身近な所でもこうしたことを話題にせざるを得ない現実を改めて事態の重大さを認識しました。大府市の幹部会議で久野市長は「大府市が特殊な状況だということ」を認識すべきであり、人口減少時代へのシフトを」と指示し、併せて「後世のために今何をなすべきか」と問題を提起しましたが、改めて市長の言葉をかみしめなければと感じたところです。</p> <p>3点目は、7月17日の「大府市適応指導推進会議」についてです。</p> <p>大府市の教育課題の一つは不登校児童生徒対策だと考えています。</p> <p>不登校については、その要因や背景が多様であり、教育上の課題としてだけとらえて対応することがむずかしい場合も多くありますが、一方で児童生徒に対して教育が果たすべき役割が大きいことも事実であり、学校や教育委員会が一層充実した指導や家庭への働きかけ等を行うことは重要です。こうした中、大府市適応指導推進会議の果たす役割は極めて大きなものがあります。共和病院の榎本先生や中京大学の辻井先生始めとする子どもの心の専門家4人を含む25人からなるこの会議では、各校の不登校の実態や取り組みが報告され、情報交換の場であると同時に、学びの場にもなっており、課題解決のヒントを得ることができる貴重な会議として回を重ねています。こうした努力の成果もあり、平成24年度は市内の不登校児童生徒数が減少したとの報告を受けています。特に中学校の不登校率が大きく改善されていることは特筆すべきことです。今後も幼保児小中連携教育の推進により、幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校の段差をスムーズにする取り組みや、学校・家庭・関係機関とのネットワークによる支援、子どもたちが楽しく通うことのできる学校づくりなどをきめ細かく、粘り強く進めていかなければいけないと感じています。</p> <p>最後に、7月31日に発生した小学生連れ去り未遂事件についてです。このことは報道でも大きく取り上げられ、保護者や市民の皆様にも大変ご心配をおかけしています。教育委員会としては市内小中学校に対して8月1日付で「児童生徒の安全確保について」の通知文を発出し、改めて注意喚起をしたところです。ただ、夏休みに入り子どもたちは家庭や地域で過ごす時間が多くなり、学校の管理が行き届きにくくなる時期でもあります。これまで以上に、地域の大人たちの協力を得ながら、安全対策の充実を図っていかねばなりません。一方で、女子児童が、大変怖い状況の中で大声を出して助けを求めたことが被害を最小限に食い止めたという面を見逃すことはできません。自分の身は自分で守るということを実践した勇気ある行動は私たちに大きな教訓を与えてくれました。防犯対策・安全対策の充実と合わせて、セルフディフェンスの考え方や行動の仕方を学ぶことも大切だと思います。子どもたちの安全を守る方策を様々な視点から考え、実行に移していきたいと思えます。</p> <p>以上で教育長報告を終わります。</p>

発 言 者	要 旨
委員長	それでは議案の審議に入ります。議案第 41 号「愛知県教科用図書採択地区の適正規模化に関する意向確認について」ご説明をお願いします。
指導主事	議案第 41 号「愛知県教科用図書採択地区の適正規模化に関する意向確認について」（以下、提案理由等資料により説明）
委員長	現在、広域採択で 5 市 5 町が同じ教科書を使っている訳ですが、大府市の先生方からはそれについての不満等は出ていますか。
指導主事	これまでのところ、そういった意見は聞いておりません。
委員長	他に、この件について何かございますか。
4 番委員	極めて適正なことばかりで異議は全くございませんが、2 ページの 1 の 1 行目に、平成 20 年度の教科用図書採択地区適正規模化検討会議があるようですが、検討会議のメンバーが分かりましたら教えてください。
指導主事	申し訳ありません。手元に資料を持ち合わせておりませんので、後ほど確認をして報告をさせていただきます。
委員長	他に、ご質問等はありませんか。
6 番委員	現場からそういった意見等が出てないのであれば、現在のところ支障がないと思われしますので、現在のままで私はいいいと思います。
	(異議なし)
委員長	それでは、承認いたします。 議案は全て終了いたしました。続きまして、報告事項をお願いします。
指導主事	報告事項 1 号「小中学校現況報告について」報告。
委員長	次の報告をお願いします。
学校教育課 庶務施設係長	報告事項 2 号「『エーデルワイス』第 9 回マンドリンふれあいコンサートの後援申請について」。(以下、資料により説明)
委員長	次の報告をお願いします。
学校教育課 庶務施設係長	報告事項 3 号「2013 年 税を考える週間 社会貢献事業『祭・de・TAX' 13』～21 世紀を担う子供たちに夢を。～の後援申請について」。は別冊をご覧ください。(以下、資料により説明)

発 言 者	要 旨
委員長	次の報告をお願いします。
学校教育課 庶務施設係長	報告事項4号「第41回「人権を理解する作品コンクール」の後援申請について」。 (以下、資料により説明)
委員長	次の報告をお願いします。
学校教育課 庶務施設係長	報告事項5号「アスペ・エルデの会 発達障がいの理解・研修セミナー2013 の 後援申請について」。(以下、資料により説明)
委員長	次の報告をお願いします。
学校教育課 庶務施設係長	報告事項6号「私立高校進学説明会の後援申請について」。(以下、資料により説 明)
委員長	次の報告をお願いします。
学校教育課 庶務施設係長	報告事項7号「平成24年度 星城大学公開講座の後援申請について」。(以下、 資料により説明)
委員長	ありがとうございました。以上で終わります。 それでは、9月の出席依頼についてお願いします。
学校教育課長	学校教育課分の報告
生涯学習課長	生涯学習課分の報告
委員長	以上ですべて終わりました。 (以下余白)